



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クレハ

コード番号 4023 URL <http://www.kureha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩崎 隆夫

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長

(氏名) 数井 明生

TEL 03-3249-4651

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	25,395	△16.7	641	△35.5	755	△21.4	△1,277	—
23年3月期第1四半期	30,481	4.7	994	49.9	961	24.4	463	131.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △1,292百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △441百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△7.44	—
23年3月期第1四半期	2.59	2.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	175,855	87,365	49.3
23年3月期	181,753	89,500	48.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 86,642百万円 23年3月期 88,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	134,000	1.3	6,500	2.4	6,000	6.4	1,200	73.4	6.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期につきましては年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報（その他）」に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	181,683,909 株	23年3月期	181,683,909 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	10,011,950 株	23年3月期	10,017,010 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	171,666,740 株	23年3月期1Q	178,601,158 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	P3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	P4
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	P4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	P4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	P4
3. 四半期連結財務諸表.....	P5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	P5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	P7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	P9
(4) セグメント情報等.....	P9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結売上高は前年同期比16.7%減の253億95百万円、営業利益は前年同期比35.5%減の6億41百万円、経常利益は前年同期比21.4%減の7億55百万円となりました。

四半期純損益につきましては、東日本大震災及び4月11、12日の余震に伴う災害損失等を計上し、前年同期4億63百万円の四半期純利益から12億77百万円の四半期純損失となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売 上 高			営 業 利 益		
	前第1四半期	当第1四半期	増 減	前第1四半期	当第1四半期	増 減
機能製品事業	8,453	7,234	△1,219	△99	25	124
化学製品事業	7,512	6,185	△1,326	958	944	△13
樹脂製品事業	9,725	7,231	△2,494	405	△288	△693
建設関連事業	1,918	1,680	△238	△269	17	286
その他関連事業	2,871	3,063	192	12	215	203
消去	—	—	—	△13	△274	△260
連結合計	30,481	25,395	△5,086	994	641	△352

①機能製品事業

機能樹脂分野では、PPS樹脂は東日本大震災の影響により国内工場が5月中旬まで操業休止となり、又、米国における合弁事業の増産態勢整備に時間を要し、売上げ、営業利益共に前年同期に比べ減少いたしました。ふっ化ビニリデン樹脂は、リチウムイオン二次電池用バインダー用途及び工業用素材用途が5月初旬まで操業休止となり、売上げは前年同期に比べ減少しましたが、営業利益はほぼ横這いとなりました。

炭素製品分野では、炭素繊維は太陽電池パネル製造用等の高温熱処理炉用断熱材用途の需要増加に震災前の在庫を活用しつつ対応し、特殊炭素材料は電池用負極材用途の早期操業再開に努め、この分野の売上げ、営業利益共に前年同期に比べ増加いたしました。

PGA(ポリグリコール酸)樹脂は、米国における工場建設が完了し、試運転を進めており、パイロットプラントから少量の出荷はありましたが、開発費負担が大きく、営業損失は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比14.4%減の72億34百万円となり、営業損益については前年同期99百万円の営業損失から25百万円の営業利益となりました。

②化学製品事業

医薬・農薬分野では、抗悪性腫瘍剤「クレスチン」は売上げが減少しましたが、慢性腎不全用剤「クレメジン」は売上げが増加すると共に、開発費等の経費支出が遅れ、又、農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」は輸出が増加し、この分野の営業利益は前年同期に比べ増加いたしました。

工業薬品分野では、か性ソーダ・塩酸等の無機薬品類、クロルベンゼン類は製造工場が5月初旬まで操業休止となり、この分野の売上げ、営業利益共に前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比17.7%減の61億85百万円となり、営業利益は前年同期比1.4%減の9億44百万円となりました。

③樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げは前年同期に比べ増加いたしました。家庭用ラップ「NEWクレラップ」は原料である塩化ビニリデン樹脂製造工場の操業度回復に時間を要しており、この分野の営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

業務用食品包装材分野では、塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルムは売上げが減少し、ラミネート用ハイバリア・フィルム「ベセーラ」は事業譲渡いたしました。多層ボトルは売上げが増加し、クレハ・ベトナムの製品はコスト負担を吸収するまで至りませんでした。引き続き改善傾向にあり、欧州子会社は売上げが減少したことに加え材料費の高騰もあり、この分野の営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

包装機械はクリップレス自動充填結紮機の大口出荷があり、営業利益は増加いたしました。中国向けの塩化ビニリデン・コンパウンドは塩化ビニリデン樹脂製造工場の操業度回復に時間を要しており、営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比25.6%減の72億31百万円となり、営業損益については前年同期4億5百万円の営業利益から2億88百万円の営業損失となりました。

④建設関連事業

建設事業は、震災の影響により前期から繰り越された公共工事の完工があったものの、民間建築での復旧工事の多くが少額物件であったことなどにより前年同期並の売上げとなりました。経費の削減等採算性の改善に努めた結果、営業損失は前年同期に比べ大幅に縮小いたしました。

エンジニアリング事業は、震災の影響もありプラント建設での工事進捗に遅れがあったこと及び産業廃棄物処理設備の建設などの大型案件がなく、売上げ、営業利益共に前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比12.4%減の16億80百万円となり、営業損益については前年同期2億69百万円の営業損失から17百万円の営業利益となりました。

⑤その他関連事業

運送事業は、取引先企業が被災した影響もあって大幅な稼働減となり、前年同期に比べ売上げは減少し、営業損失を計上いたしました。

環境事業は、既存事業所（福島県いわき市）での震災による廃棄物処理が大幅に増加したことに加え、新事業所（神奈川県川崎市）での受注も増加し、前年同期に比べ売上げは大幅に増加いたしました。又、売上げの増加に加え新事業所での採算改善が進んだ結果、前年同期の営業損失から営業利益となりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比6.7%増の30億63百万円となり、営業利益は前年同期12百万円から2億15百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産に関する分析

当第1四半期末の資産の部につきましては、流動資産は、震災の影響も加わって前第4四半期に比較して当第1四半期の売上げ減少による債権の減少などにより、前期末に比べ68億24百万円減の573億36百万円となりました。有形固定資産は、海外生産拠点を含む高水準の設備投資が償却費増加を上回り、前期末に比べ20億71百万円増の859億88百万円となりました。投資その他の資産は、投資有価証券の時価が前期末より下落したことにより、前期末に比べ11億22百万円減の316億82百万円となりました。以上の結果、資産合計は、前期末に比べ58億97百万円減の1,758億55百万円となりました。

負債の部につきましては、有利子負債は短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増加と長期借入金の減少との差し引きにより、前期末に比べ7億70百万円増の556億54百万円となりましたが、操業度低下に伴う仕入債務の減少、賞与及び法人税等の支出に伴う賞与引当金及び未払法人税等の減少などにより、負債合計として前期末に比べ37億63百万円減の884億89百万円となりました。

純資産の部につきましては、四半期純損失12億77百万円を計上、剰余金の配当8億58百万円を実施し、株式の評価差額金の減少、為替換算調整勘定の増加などの差引きとして、純資産合計は、前期末に比べ21億34百万円減の873億65百万円となりました。

このような総資産の変動は、震災及び季節要因による債権債務の変動、為替・株価等の外部要因を除いて、海外等の設備投資及び一部設備稼働に伴い、追加的資金調達を行うなど事業展開を進めたことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の日本経済は、東日本大震災で被災したサプライチェーンの建て直しが進み、生産活動が回復していくのに伴い、海外経済の緩やかな回復や各種の政策効果などを背景に、景気が持ち直していくことが期待されます。しかしながら、電力供給の制約や原子力災害及び原燃料高の影響に加え、海外経済の回復が更に緩やかになること等により、景気が下振れするリスクがあり、不透明な状況にあります。

当社グループにおいては、東日本大震災及びいわき市を震源とする余震により、生産設備の一部に被害を受けましたが、復旧作業はほぼ終了しております。引き続き、炭素繊維、ふっ化ビニリデン樹脂などの機能製品事業の拡大、慢性腎不全用剤「クレメジン」や農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」のグローバル展開、PGA（ポリグリコール酸）樹脂やリチウムイオン二次電池（LiB）用負極材の事業化推進等の施策の遂行に取り組みます。

以上を踏まえ、通期の連結業績といたしましては、2011年5月12日に発表いたしました業績予想のとおり、売上高は1,340億円（前期比1.3%増）、営業利益は65億円（前期比2.4%増）、経常利益は60億円（前期比6.4%増）、当期純利益につきましては12億円（前期比73.4%増）を予想しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度のグループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2011年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,746	6,771
受取手形及び売掛金	27,294	23,623
商品及び製品	12,800	12,087
仕掛品	1,381	2,288
原材料及び貯蔵品	5,013	5,131
その他	7,023	7,543
貸倒引当金	△98	△110
流動資産合計	64,161	57,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,519	28,406
機械装置及び運搬具（純額）	22,711	22,135
建設仮勘定	17,886	20,673
その他（純額）	14,800	14,773
有形固定資産合計	83,917	85,988
無形固定資産	868	847
投資その他の資産		
投資有価証券	18,184	17,103
その他	14,737	14,702
貸倒引当金	△116	△123
投資その他の資産合計	32,805	31,682
固定資産合計	117,591	118,519
資産合計	181,753	175,855

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2011年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,156	13,371
短期借入金	13,455	14,389
未払法人税等	673	210
賞与引当金	1,977	943
災害損失引当金	1,821	258
役員賞与引当金	28	9
その他	16,939	17,849
流動負債合計	49,051	47,034
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	17,429	16,264
退職給付引当金	769	746
役員退職慰労引当金	365	283
環境対策引当金	163	163
資産除去債務	774	777
その他	3,698	3,218
固定負債合計	43,200	41,455
負債合計	92,252	88,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	9,456	9,149
利益剰余金	71,935	70,106
自己株式	△4,542	△4,539
株主資本合計	89,310	87,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,723	3,113
繰延ヘッジ損益	△36	△30
為替換算調整勘定	△4,164	△3,616
その他の包括利益累計額合計	△477	△533
新株予約権	64	67
少数株主持分	603	655
純資産合計	89,500	87,365
負債純資産合計	181,753	175,855

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)
売上高	30,481	25,395
売上原価	22,438	18,629
売上総利益	8,043	6,765
販売費及び一般管理費	7,049	6,124
営業利益	994	641
営業外収益		
受取利息	18	14
受取配当金	317	327
持分法による投資利益	95	63
その他	69	114
営業外収益合計	500	519
営業外費用		
支払利息	197	207
売上割引	111	62
為替差損	127	—
その他	97	134
営業外費用合計	533	405
経常利益	961	755
特別利益		
事業譲渡益	—	700
固定資産売却益	4	0
投資有価証券売却益	210	—
その他	52	105
特別利益合計	266	805
特別損失		
災害による損失	—	2,389
固定資産除売却損	21	153
投資有価証券評価損	43	5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	184	—
その他	67	98
特別損失合計	316	2,647
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	911	△1,086
法人税等	504	149
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	407	△1,235
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△56	42
四半期純利益又は四半期純損失(△)	463	△1,277

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	407	△1,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△856	△614
繰延ヘッジ損益	—	6
為替換算調整勘定	5	489
持分法適用会社に対する持分相当額	2	61
その他の包括利益合計	△848	△56
四半期包括利益	△441	△1,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△379	△1,333
少数株主に係る四半期包括利益	△61	41

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2010年4月1日 至 2010年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,453	7,512	9,725	1,918	2,871	30,481	—	30,481
セグメント間の内部 売上高又は振替高	185	53	354	1,632	1,947	4,174	△4,174	—
計	8,639	7,566	10,080	3,551	4,819	34,656	△4,174	30,481
セグメント利益又は 損失 (△)	△99	958	405	△269	12	1,008	△13	994

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 2011年4月1日 至 2011年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,234	6,185	7,231	1,680	3,063	25,395	—	25,395
セグメント間の内部 売上高又は振替高	277	76	290	2,205	1,526	4,375	△4,375	—
計	7,511	6,262	7,521	3,886	4,589	29,770	△4,375	25,395
セグメント利益又は 損失 (△)	25	944	△288	17	215	915	△274	641

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。